

富士フィルム、東芝と合併の内視鏡販社を完全子会社化

2009年2月5日

富士フィルムは2月5日、東芝子会社と共同出資する内視鏡製品の販売会社「フジノン東芝ESシステム(FTS)」を、3月31日付けで完全子会社にすると発表した。内視鏡製品の開発、製造から販売、保守まで一貫体制を構築するとしている。

富士フィルムは、東芝の医療機器製造販売子会社、東芝メディカルシステムズが保有するFTS株をすべて取得する。これにより富士フィルムのFTSに対する出資割合はこれまでの60%から100%となる。また4月1日付けで、FTSを富士フィルムの医療機器販売子会社、富士フィルムメディカルに統合する。

富士フィルムと東芝メディカルシステムズは、内視鏡製品の販売について協力を続ける方針。また東芝メディカルのエックス線発生装置と、富士フィルムの医療用デジタルエックス線画像診断システムの相互供給を強化するとしている。

なお東芝メディカルシステムズは今後、内視鏡診断と補完的関係にあるCTコロノグラフィーや消化管超音波診断などの画像診断技術に力を入れるという。